ISSN　2432—6216

富山大学日本文学研究

第３号

[特集] 現代批評教材を読む
はじめに …… 東海義仁… 1
——高等学校国語学習指導要領における批評の位置
リベラリズムを封じ込める現代批評教材 …… 西田谷洋… 3
——仲正昌樹「何のための「自由」か」——
フィクションのリアル／技術のリアリティ …… 須貝航太… 13
——岡真理「虚構のリアリズム」——
ステレオタイプというわかりやすさ …… 黒田苑… 19
——山田登世子「メディアのテロル」——
変化しているものはなにか …… 東海義仁… 23
——阪本俊生「ポスト・プライバシー」——
批評と研究の界面 …… 西田谷洋… 27
[新刊紹介]
亀井秀雄編
『増補　感性の変革』 …… 東海義仁… 37
西田谷洋編
『文学研究から現代日本の批評を考える
——批評・小説・ポップカルチャーをめぐって』… 榊祐一… 39
＊
指導者を語る　支援者が語る …… 牧千夏… 41
——『乳と蜜の流るゝ郷』と「ポラーノの広場」の産業組合表象——
村上春樹「バースデイ・ガール」における
繰り返しのレトリック …… 東海義仁… 55

彙報 … 61

2018年2月

富山大学人間発達科学部日本文学会

富山大学人間発達科学部日本文学会会則

第一条　この会は富山大学人間発達科学部日本文学会と称し、事務局を富山大学人間発達科学部日本文学研究室（富山県富山市五福三一九〇）に置く。

第二条　この会は会員相互の協力により、日本文学研究を進めることを目的とする。

第三条　この会は前条の目的の達成のために次の事業を行う。

1　研究発表会、公開講演会などの開催。

2　機関誌などの刊行

3　その他、会の目的の達成に必要と認められる事項。

第四条　この会の設立の趣旨に賛同する富山大学人間発達科学部日本文学分野の教員および在学生、院生、卒業生、修了生をもって会員とする。この他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもって会員とする。

第五条　前条の会員は一般会員及び維持会員で組織する。

編集後記

『富山大学日本文学研究』第三号をお届けする。本号には二〇一七年度の共同研究の成果として現代批評教材の特集を編んだ。また、会員の卒論（一部）と会員の共著の新刊紹介も掲載した。学内外の執筆者に心から感謝申し上げる。

富山大学に限らず全国で教員免許科目の再課程認定が進められている。かつて旧教育学部改組の際に行った国語免許課程認定返上が地域の国語科教育に与えた打撃は大きいが、国語免許課程認定復活の努力を、本学部に残った、またその後着任した国語担当教員は続けている。今後予定の改革が、大学・学部・附属学校・一般校・学生にとってよりよい方向に向かってくれればと思う。

改めて、本誌が、富山大学人間発達科学部国語教育関係者の研究・教育に一層寄与することを願っている。（H・N）

富山大学日本文学研究（第三号）

二〇一八年一月二〇日　印刷
二〇一八年二月一五日　発行

編集兼発行者　富山大学人間発達科学部日本文学会
発行所　九三〇―八五五五　富山市五福三一九〇
富山大学人間発達科学部西田谷研洋究室
〇七六―四四五―六三〇八
印刷所　五〇一―二五一七岐阜市三輪ぷりんとぴあ3
株式会社　コームラ
〇五八―二二九―五八五八